

第1学年通信

第7号

平成27年11月2日(月)

ホームページ <http://www.nc.isesaki-hs.gsn.ed.jp/>

1. 成績が変動しやすい秋だからこそ、学習習慣を見直そう

高校入学から1年の3分の2が過ぎようとしています。1年生秋から冬にかけては、学習内容がさらに高度になり、成績の変動が大きくなります。部活動などでなかなか自宅学習ができないという人も、この時期にこれまでの学習習慣を見直してみましょう。

2. 進路を考える秋

10月は企業訪問、今月は職業講話と進路を考えるための行事があります。「働く人の話を聞く」、「働く人の姿を見る」。こういう機会は貴重です。そしてそこから何を得るかは、皆さんの考え次第で変わってきます。「自分と違った立場の人の言行も自分の智徳を磨く助けとなる。」という言葉があります。何かを得ようという姿勢で臨めば、どんなことから得られることは必ずあります。今の体験は、一生の肥やしになるはずです。何事にも食欲になって下さい。

3. 10月の報告

(1) 企業・大学訪問

キャリア教育の一環として6日(火)に実施されました。実際に企業等で働く人達の様子や大学の研究などを見学することで、自分の人生設計を考える契機となればという意図で行われました。引率の先生方の話によると、みんなしっかりした態度で見学が出来たようです。まずそれが何よりです。次にLHRの授業で、見学の内容をまとめ発表しました。この経験を自分の進路に活かしてもらいたいです。それがこの行事の目的です。来年度の科目選択も最終調査が近づき、将来自分がどういう方向に進んでいくか見えてきた人も多いと思います。次にやることは、大学見学を踏まえて、学部や学科を考えていくことです。

(2) 英語検定

9日(金)には第2回英語検定が行われました。3級～準2級までの希望者受験でしたが、1年生は6名が挑戦しました。現時点での英検取得状況(中学在籍時取得含む)ですが、3級(106名)・準2級(9名)・2級(1名)となっています。第3回は1月下旬で今年度最後となりますので、今から計画的に学習計画を立て、奮って参加して下さい。また今月6日(金)には、希望者受験ですが、漢字検定がありますので、積極的にチャレンジしましょう。大人になってから資格を取ろうと思っても、仕事をしながらの勉強はなかなかできません。

(3) 学年PTA

22日(木)の午後2時から4時まで、1学年保護者の方185名に出席していただき、PTA進路講演会を行いました。主な内容は、外部講師による進路講演会と本校進路状況と学年の現状報告でした。

外部講師による進路講話は、河合塾の河島優先生による保護者向けの講演会でした。「現役合格を目指して」という演題で、大学入試の基礎知識から受験生の保護者になるための基礎知識まで多岐に渡るお話をいただきました。特に、「受験期の子どもの関係」の話は、成功・失敗する保護者の具体例を入れるなど参考になったのではないかと思います。ぜひ、ご家庭でも実践してみてください。

また、学年の現状説明では、2学期の状況報告と今後の進路行事の流れを中心に行いました。科目選択についてですが、11月の20日(金)までに調査用紙を提出してもらいます。今後、11月9日からの2者面談期間で微調整を行います。

学年では次のように考えています

生徒が1年生のうちに、将来就く職業を意識した進路設計をするための指導をしています。保護者の方にも、1学期にキャリア・ガイダンスを聞いて頂きました。現代では、「キャリア教育の重要性」をよく耳にしますが、高校教育の現場でもその重要性が叫ばれています。生徒が、将来、「行きたい大学に入ったけれど、こんなはずじゃなかった」、「就職したけどすぐ辞めてしまって、定職に就きたくない」とならないでほしいと思います。入試に関する情報提供や受験勉強の方法を指導することだけが、進路指導ではないということです。

3. 11月の予定

2日(月) 創立記念式典(5分短縮授業)・(午後)記念式典・講演会	
4日(水) 避難訓練(5分短縮授業)	5日(木) 学年集会(学科選択)(7限)
6日(金) 漢字検定[希望者](放課後)	9日(月)～13日(金) 二者面談週間(10分短縮)
13日(金) 第3回マナーアップ運動	16日(月)身だしなみチェック強化日
19日(木) 日本語のチカラ③	同窓生による職業講話(6・7限)
20日(金) 学科選択用紙提出締切日	21日(土) 土曜補習(第6回)
30日(月)～3日(木) 期末考査	

創立記念式典

2日(月)は創立記念日です。今から、11年前の11月1日に、新生「伊勢崎高校」が誕生しました。午後に記念式典が行われ、その後の記念講演会では、伊勢崎高校1期生の澁澤悠太氏(昨年まで「玉村中」・本年度「毛里田中」教諭)から、「後輩へのメッセージ」という演題で講演をいただきます。

2者面談

9日～13日に2者面談を行います。1学期に提出された希望調査と5日(木)に行う学年集会を参考にして、面談までに、進みたい学科、選択したい科目をご家庭でも相談しておいて下さい。志望校や卒業後進みたい学部・学科を基に、決めて頂きたいと思います。

「同窓生」による職業講話

一昨年度から実施され、1年生に好評な学年行事です。先輩(「伊東・伊高」同窓生)による講話を聞くことで、志望している職業についての職業観をより明確にするとともに、自分たちが進むべき進路についての考察を深め、自発的に今の高校生活を充実させる契機となればと考えております。本年度は、企業・公務員・保育・医療系を含む13名のOB・OGに講話をお願いしてあります。

期末試験

11月末の30日(月)～12月3日(木)までの4日間、期末考査があります。中間考査からあまり時間がありません。早め早めの準備をしっかりと、試験を受けるようにして下さい。

五郎丸選手に学ぶ「アスリートとルーティン」

～見直される勝利のポーズ、勉強にも活きる?～

先日、ラグビーの超強豪国である南アフリカ相手に大金星を挙げたラグビー日本代表の中心選手、五郎丸歩のルーティンが、今話題になっている。

五郎丸はゴールキックの際に、合掌の変形のようなポーズを見せる。ネット上では“流腸ポーズ”とも言われているようだが、なんでもこれはイングランドの名選手ジョニー・ウィルキンソンにあやかっただけらしい。

ラグビーに限らず、アスリートにとってルーティンは重要なものだ。一見、競技とは何の関係ない前動作だが、やっている本人にしてみれば緊張を和らげる効果がある。選手にとって、ルーティンという英単語を“願掛け”と訳しても、あながち間違いではないのだ。

～勉強にもルーティンを活用しよう!～

ルーティンは、スポーツだけでなく勉強にも有効だろう。緊張を強いられる定期試験や授業のプレゼンの前にルーティンを取り入れてみれば、緊張が解けスムーズな状態が維持出来るかもしれない。そこで成功体験が重なれば、次第に自信が満ち溢れる、なんていうサクセス・ストーリーも十分に考えられる。

学生の具体的なルーティンとしては、試験前に深呼吸、「人」という漢字を手を書いて落ち着かせる(古典的?)、ベルトを結び直す、顔を洗う、腕時計を眺める、などなど色々な試みが考えられる。

スポーツマンのみならず高校生も、ルーティンを取り入れてみてはいかがだろうか。

《保護者の皆さんへ》

先日の進路講演会では、お忙しい中多数出席いただき、大変お世話になりました。11月は進路に関わる、学科・科目選択を決定して行きます。生徒たちは悩むことが多いと思いますので、相談に乗ってあげて下さい。また、分からないことがありましたら、何なりと担任に相談して下さい。